芸工棟前の桜について

芸工の桜
について
お知らせ

毎年春にみごとな花を咲かせ、我々の目を楽しませてくれている桜ですが、
年を重ねだんだんと弱ってきております。
台風等で枝が折れれば、周囲の建物を破損させるだけでなく、
桜自身もダメージを受ける恐れがあったため、
10 月 14 日に学内の植栽の手入れを依頼している業者に弱っている枝の切り落としと、
防腐処理をしていただきました。

枝を落とすことは、やむにやまれぬ処置でしたが、
一見、とても痛々しい姿になってしまったため、心配された方も多いと思います。

そこで、芸術工学部同窓会 萱光会（けんこうかい）で、11 月 12 日に、
サクラ等の保全・普及活動を行っている「公益財団法人 日本花の会」から
主任研究員・樹木医の田中敏行様をお招きし**桜の診断をしていただきました。**

結果、次のような話をうかがいました。

桜が弱っている大きな原因としては…

１．土壌が窪地になっており水はけが悪い

ことを指摘されました。しかし、配管等を整備し直すような大規模な工事は現実的でなく、
また、今回、枝を切り落としたことで桜が弱りすぐにダメになってしまう心配はないそうなので、当面は現状のまま様子を見ていくことになりました。
今後、桜が台風等でダメになった場合に、新しい桜の苗を植樹し、その際に盛り土をすることで、土壌の改善をしていくといいのでは、という話になりました。

そのほか、

２．害虫（コスカシバ）が寄生している

ことも、桜の弱る一因になっているそうなので、
来年の５月頃にフェロモントラップ等の薬剤で駆除することをアドバイスいただきました。
こちらはまた時期を見て、大学側で対応して行く予定です。

そして…

学内および来学される皆さまへのお願い

踏み固めることで土壌が悪くなるそうなので、
桜の植わっているところへは立ち入らないようにしてください。

萱光会
名古屋市立大学
芸術工学部同窓会
kenkoukai@sda.nagoya-cu.ac.jo
www.sda.nagoya-cu.ac.jp/dousoukai/